

2019年度

藤前干潟の鳥を観察してみよう!

ふしまえ ひがた 藤前干潟の渡り鳥調査隊



「渡り鳥調査隊」は藤前干潟に飛来する野鳥を観察しながら、野鳥の種類と数を調べるイベントです。調査というと難しく聞こえますが、野鳥観察の初心者の方も大歓迎です。一緒に野鳥観察と鳥類調査にチャレンジしてみませんか？

日程

毎月1回、下記の土曜日開催 ※雨天時は館内から観察等を行います。

(2019年) 4月6日・5月4日・6月15日・7月20日・8月17日・9月28日・10月12日・11月16日・12月14日

(2020年) 1月25日・2月8日・3月21日

時間

10時～12時

場所

名古屋市野鳥観察館

(あおなみ線「野跡駅」より徒歩15分)



【対象】小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

【定員】各回20名(定員に達しない場合は当日も受け付けます。)

【参加費】無料

【持ち物】帽子・水筒・双眼鏡(お持ちであれば)・冬は防寒着

【申込み・問い合わせ先】

名古屋市野鳥観察館

名古屋市港区野跡4-11-2稲永公園内

電話/FAX: 052-381-0160

Eメール: nagoya.kansatukan@car.ocn.ne.jp

【開館時間】9:00～16:30

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・第3水曜日

【主催】

名古屋市野鳥観察館

(指定管理者 東海・稲永ネットワーク)

【協力】

藤前干潟ふれあい事業

パートナーシップ事業



年間を通して120種類以上の鳥たちが飛来する藤前干潟。埋め立ての危機を乗り越え、2002年には国際的に重要な湿地であるとして「ラムサール条約」に登録されました。

藤前干潟が埋め立てから守られることとなった大きな原動力は熱心な市民運動でしたが、埋め立て問題が大きくなる以前から続けられていたアマチュアによる鳥類調査のデータも干潟の重要性を示す根拠のひとつとなりました。

干潟の食物連鎖の頂点にいる鳥たちを継続的に調べていくことは、干潟環境の状況を知ることにつながります。名古屋市民が世界に誇れる宝である「藤前干潟」を将来に渡って引き継ぐために、特に子どもたちに野鳥観察・鳥類調査の体験を通して野鳥や干潟に親しんでもらいたいと考えています。